

科目の種類	必修	科目名	数学 I ・ 数学 A	学 年	1	単位数	5
コ ー ス	進学コース						
教 科 書	東京書籍 「新編数学 I」・「新編数学 A」						
副 教 材	東京書籍 「ニュージャスト数学 I + A」, 「計算級別トレーニング数学 I ・ A」						
科目のねらい <ul style="list-style-type: none"> 身近なことについて, 数学的に調べ, 対処する能力の向上を目指します。 数学的なものの見方, 考え方の素晴らしさを認識し, 積極的に活用する力を付けることを目指します。 							
授業の進め方 <ul style="list-style-type: none"> 数学 I, 数学 A を交互に織り交ぜながら授業を進めていきます。 定期テストごとに習熟度別クラスを編成し, 授業を進めていきます。 クラス替えは, 定期テスト, 校内実力テスト, 小テスト, 基礎力テスト の結果をもとに行います。 授業内容について <ul style="list-style-type: none"> Aクラスは教科書の例題から入試問題の範囲で授業を進めていきます。 Bクラスは教科書の例題を中心に授業を進めていきます。 中学校時代に学習した基本的事項, 定理, 公式を確認しながら授業を進めていきます。 随時小テストを実施し, 学習の定着をはかります。 							
より良く学習を進めるためのアドバイス <ul style="list-style-type: none"> 問題を授業中は先生の説明を良く聞き, 練習問題を自分の力で解くように心がけて下さい。 ニュージャストを使って授業の学習内容を振り返ってみることが大切です。 必要に応じて宿題を出しますが, 自分の力で解くようにして下さい。 定期テストだけではなく, 校内実力テスト, 小テスト, 基礎力テスト, 実力テストに向け計画を立てて学習する習慣を付けて下さい。 							
評価方法 <p>○テストについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期テスト範囲は同じですが, テスト問題は, 共通 100点, クラス別問題 50点となります。出題範囲は, 教科書の例題, 問, 問題, 練習問題, ニュージャストとなります Aクラスは標準～応用問題, Bクラスは基本～標準問題となります。 成績評価は, 数学 I ・ 数学 A の 2 科目となりますが, 評価は総合して行い, どちらも同じ評定となります。 <hr/> <p>○平常点について</p> <ul style="list-style-type: none"> 校内実力テスト, 小テスト, 基礎力テスト, 級別トレーニング, 授業態度・欠席回数・提出物などを点数化して, 総合的に評価していきます。 							

学期	学 習 単 元	学 習 の 内 容 と ね ら い
前 期	I. 数と式 [式の計算] ①整式と加法・減法・乗法 ②因数分解 [実数] ①実数と平方根の計算 ②発展 II. 方程式と不等式 [1次不等式] [2次方程式] ①2次方程式の解法 ----- 第 1 回 定 期 考 査 ②解の公式 ③2次方程式の応用 ④判別式 III. 2次関数 [関数とグラフ] ①関数 ②2次関数とそのグラフ ③2次関数の決定 ④2次関数の最大・最小 [2次関数とグラフと 2次不等式] ①グラフとx軸の共有点 ②放物線と共有点 ③2次不等式 ④2次不等式の応用 ----- 第 2 回 定 期 考 査	①整式の四則演算について学びます。 ②因数分解の公式が利用できるようにします。 ①平方根を含む式の計算，分母の有理化について学びます。 ②二重根号，複2次式の因数分解について学びます。 1次不等式の解き方を学び，文章題を解いていきます。 ①因数分解や平方完成による解法について学びます。 ----- 第 1 回 定 期 考 査 ②解の公式を用いて2次方程式の解を求めます。 ③実数解の個数と文章題などを解いていきます。 ④2次方程式の判別式について学びます。 ①関数を表す記号 $y = f(x)$ を使えるようにします。 ②平方完成について学びます。 ③与えられた条件からその2次関数を決定します。 ④最大値や最小値とその求め方について学びます。 ①グラフとx軸との関係について学びます。 ②放物線と直線の共有点について理解します。 ③2次不等式の解を求められるようにします。 ④2次不等式の応用ができるようにしていきます。 ----- 第 2 回 定 期 考 査
	I. 集合と場合の数 [集合と要素の個数] ①集合 ②有限集合の要素の個数 [場合の数] ①樹形図と場合の数 ②順列 ③組合せ ④二項定理 IV. 図形と計量 [鋭角の三角比] ①直角三角形と三角比 ②三角比の相互関係 ----- 第 3 回 定 期 考 査 [三角比の拡張] ①三角比と座標 ②三角比の性質 [三角形への応用] ①正弦定理・余弦定理 ②三角形の面積と応用 [図形の計量] ①空間図形の計量 ②相似と計量 ③球の体積と表面積 ----- 第 4 回 定 期 考 査 II. 確率 [確率とその基本性質] ①事象と確率 ②確率の基本性質 [独立な試行と確率，期待値] ①独立な試行の確率 ②反復試行の確率 ③複雑な事象の確率 ④期待値 ----- 第 5 回 定 期 考 査	①集合と要素，要素の表し方，部分集合について学びます。 ②要素の個数の求め方について学びます。 ①和の法則，積の法則について学びます。 ②順列の総数 nP_r や階乗の計算ができるようにします。 ③組合せの総数 nC_r をの計算ができるようにします。 ④二項定理をパスカルの三角形と関連づけて学習します。 ①直角三角形と $30^\circ, 45^\circ, 60^\circ$ の三角比の値を求めます。 ②三角比の相互関係について理解します。 ----- 第 3 回 定 期 考 査 ①鈍角や $0^\circ, 90^\circ, 180^\circ$ の三角比の値を求めます。 ②三角比の相互関係について理解を深めます。 ①正弦定理・余弦定理を理解し，活用できるようにします。 ②三角形の面積を三角比を利用して求めます。 ①三角比を空間図形の計量に活用できるようにします。 ②面積比・体積比について学びます。 ③球の体積と表面積について学びます。 ----- 第 4 回 定 期 考 査 ①試行と事象，事象の確率について学びます。 ②集合と関連づけながら学びます。 ①独立な試行について，具体例を通してその意味を理解します。 ②反復試行の確率を理解します。 ③条件つき確率について学びます。 ④賞金付きのくじの例を通して期待値を理解します。 ----- 第 5 回 定 期 考 査